

瓊水

瓊のように清く 鉄のように強く 手をつなぎ
のびる北っ子

校長 田崎俊一郎



笑いの芸能「寄席」

「となりの家に囲いができたんだってね。」「へえ〜。」有名な小噺ですが、先週の木曜日に平戸市主催の青少年劇場巡回公演“笑いの芸能「寄席」”が本校の体育館で行われました。南小学校の子どもたちと一緒に落語・紙切りなど笑いの芸能をたっぷりと堪能しました。笑いにはいろいろな効果があると言われています。心への効果、体への効果等たくさんありますが、その効果を得るためにはまずは笑いを理解しなければなりません。今回の公演の冒頭、噺家の柳家 禽太夫さんは冒頭の小噺を紹介した後、見る方向でそれぞれの役柄を演じていること、仕草によって状況を説明することなど、落語の楽しみ方を教えてくださいました。そして、「頭の中でしっかりと想像すると楽しめる」と、子どもたちに語りかけられました。はじめはなかなか理解できなかった子どもたちも、お話を聞く中でどんどんと笑いの世界に引き込まれていきました。

テレビやゲームはもちろんタブレット等映像が溢れている現代で、言葉や仕草などの表現で相手に想像させる落語のような芸能を続けるのはたいへんなことだと思います。表現力のすばらしさを実際に感じる事ができた良い機会でした。



紙切りの実演ではその場でリクエストにこたえてくださいました。



授業研究会

市内の先生方が集まり、授業の方法を検討し合う授業研究会が北小学校で行われました。10月14日には3年生の国語の授業を市内の小学校の国語研究部の先生方にみていただき、その指導についてたくさんの意見をいただきました。先週金曜日には市内の図工研究部の先生方に、1年生の図工の授業をみていただき、場の設け方などについて意見をいただきました。校内でも互いの指導について、授業を見合いその指導法を高めるために日々研修をしていますが、他校からも来ていただき、授業の進め方について意見をいただくことで、より広い視野に立って指導法について考えることができます。今回の国語、そして図工の指導についても、さまざまな角度から、指導の良さと課題についてご意見をいただきました。今後の子どもたちの指導につなげていきます。



国語はサーカスのライオンの読みとりの授業でした。



図工は、べったんコロコロの授業でした。

